

◇クラウドネイティブ人財育成道場の体系

機械実習付

基本トレーニング

クラウドネイティブ開発を継続していく
土台として必要な基本スキルを習得

クラウドデザイン編
DXB01

DevOps による継続開発編
DXB02

発展トレーニング

マイクロサービスやサーバーレスを活用する
クラウドネイティブ開発に必要なスキルを習得

サーバーレス編
DXA03

マイクロサービス開発編
DXA05

(Web アプリケーション開発者)

クラウドネイティブ構築編
DXA04

クラウドネイティブ人財育成道場 - サーバーレス編

コースコード : DXA03

受講料 : 135,000 円 (税抜)

受講期間 : 1 日 <9 時 30 分 ~ 17 時 00 分>

- 対象者 クラウドネイティブ開発あるいは開発内製化等に直面しているベンダー企業
やユーザー企業のエンジニアの方
- 概要 サーバーを意識しないプログラム実行環境で、Function as a Service (FaaS)とも呼ばれます。当コースでは、Microsoft Azure を使ったサーバー
レス開発の基礎を学び、PaaS や SaaS へのパイプラインとしての機能を理
解するとともに、iPaaS による自動制御に関するスキルを習得できます。
- 学習内容 1. サーバーレスコンピューティング概要
2. Microsoft Azure
3. サーバーレスを用いたシステムパターン
4. 業務フローの自動化
5. ハンズオン
- 前提条件 ・コードを書けるエンジニア(プログラマー、システム系、ネットワーク系問わず)
であるか、クラウドインテグレートに携わる管理者など
・「クラウドデザイン編(DXB01)」と「DevOps による継続開発編(DXB02)」
を受講しているか、PaaS とクラウドデザイン(クラウド設計)および
アジャイルや継続的開発を含む DevOps に関する知識とスキルがあること

2019/6/24 (月) 日本橋ビジネスセンター、9/9 (月)、11/13 (水) 茅場町

クラウドネイティブ人財育成道場 - マイクロサービス開発編

コースコード : DXA05

受講料 : 135,000 円 (税抜)

受講期間 : 1 日 <9 時 30 分 ~ 17 時 00 分>

- 対象者 クラウドネイティブ開発あるいは開発内製化等に直面しているベンダー企業
やユーザー企業のエンジニアの方
- 概要 マイクロサービスとは、独立した小さいサービスを疎結合し、1 つのアプリケー
ションとして稼働させる技術です。そのマイクロサービスを開発するために必
要な、ドメイン駆動設計を用いたアプリケーション設計から、実際に
Kubernetes ヘデブロイして実装、さらにマイクロサービス特有のリリースマ
ネジメントを学びます。
- 学習内容 1. マイクロサービスアーキテクチャー概要
2. アプリケーションアーキテクチャー基礎
3. Kubernetes によるマイクロサービス実装
4. ハンズオン
- 前提条件 ・Web アプリケーション開発者
・「クラウドデザイン編(DXB01)」と「DevOps による継続開発編(DXB02)」
を受講しているか、PaaS とクラウドデザイン(クラウド設計)および
アジャイルや継続的開発を含む DevOps に関する知識とスキルがあること

2019/6/26 (水) 日本橋ビジネスセンター、9/11 (水)、11/15 (金) 茅場町

※研修内容は予告なく変更する場合があります。

クラウドネイティブ人財育成道場 - クラウドネイティブ構築編

コースコード : DXA04

受講料 : 135,000 円 (税抜)

受講期間 : 1 日 <9 時 30 分 ~ 17 時 00 分>

- 対象者 クラウドネイティブ開発あるいは開発内製化等に直面しているベンダー企業
やユーザー企業のエンジニアの方
- 概要 現在のクラウドネイティブの中心ともいえる、Kubernetes を使った分散型
アプリケーション開発の基礎であるコンテナクラスターの設計、構築を中心に
クラウドネイティブ環境の基礎を学びます。
- 学習内容 1. クラウドネイティブ概要
2. Docker 基礎
3. Kubernetes 基礎
4. ハンズオン
- 前提条件 ・コードを書けるエンジニア(プログラマー、システム系、ネットワーク系問わず)
であるか、クラウドインテグレートに携わる管理者など
・「クラウドデザイン編(DXB01)」と「DevOps による継続開発編(DXB02)」
を受講しているか、PaaS とクラウドデザイン(クラウド設計)および
アジャイルや継続的開発を含む DevOps に関する知識とスキルがあること

2019/6/25 (火) 日本橋ビジネスセンター、9/10 (火)、11/14 (木) 茅場町

◇クラウドネイティブ人財育成道場の学習目標◇

- クラウドデザインパターンやクラウドネイティブアーキテクチャーを理解する
- 常に改善されるアジャイル型マネジメントを学び、DevOps として体现する
- ドメイン駆動設計を理解し、マイクロサービス開発を習得する
- ハンズオン、座学、グループワーク等を通じて、実用的なスキルを身につける
- 継続して先端技術を取り入れるためのビジネス理解を深める



Alterbous

講師 オルターブス社のエンジニア
が講師を担当します

小島 淳 (Atsushi Kojima)

株式会社オルターブス
代表取締役 CEO

Microsoft Azure や AWS を中心としたクラウドの導入・フル
スタック開発・IT コンサルティング・フルマネージドサービス、
DevOps 導入支援、FoodTech 事業などを展開

-Microsoft Innovation Award 2017 受賞
-Microsoft Partner of The Year 2017 on OSS 受賞

NEW

IT エンジニアのスキルを トランスフォーメーションさせる

機械実習付

クラウドネイティブ人財育成道場

※クラウドネイティブとは、クラウドで生み出される、クラウドでしか作ることが出来ないアプリケーションを指します。

クラウドネイティブ人財育成道場シリーズ

【クラウドデザイン編】: PaaS を中心としたクラウドデザインパターン

【DevOps による継続開発編】: リーンソフトウェア、アジャイル、インフラコード化、組織ビルド

【サーバーレス編】: サーバーレスコンピューティングの基礎、実践、iPaaS による自動制御

【クラウドネイティブ構築編】: Kubernetes を使った、分散型アプリケーション開発の基礎

【マイクロサービス開発編】: ドメイン駆動設計を基にした、大規模アプリケーション開発の基礎



- 現場で活躍する IT エンジニアに、クラウドネイティブ開発スキルを伝授する
- クラウドネイティブ開発の第一線で活躍する講師陣による実践的な演習コース
- 今後のテクノロジーやビジネスの変化に対応したエッセンスの入った体系的カリキュラム

クラウド講座

株式会社アイ・ラーニング



株式会社 アイ・ラーニング

本社 : 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル
大阪 : 〒540-6111 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21MIDタワー11F

●アイ・ラーニングは、次代を担う人財の育成を支援します。

20190507_クラウドネイティブ人財育成道場-01



i-Learning facebook :
www.facebook.com/ilearningjip/



i-Learning mail magazine :
www.i-learning.jp/form/mail.html



- コースの詳細情報、お申し込みは Web から ! <https://www.i-learning.jp/service/it/cloud.html>
- お問い合わせ先 フリーダイヤル : 0120-623-629 <9:00~17:00>土日祝日弊社休業日を除く
e-mail : contact@i-learning.jp

i-learning DXB01 検索

コース検索



企業が生き残るための「クラウドネイティブ」

貴社の IT システムをレガシー化させないための人財育成



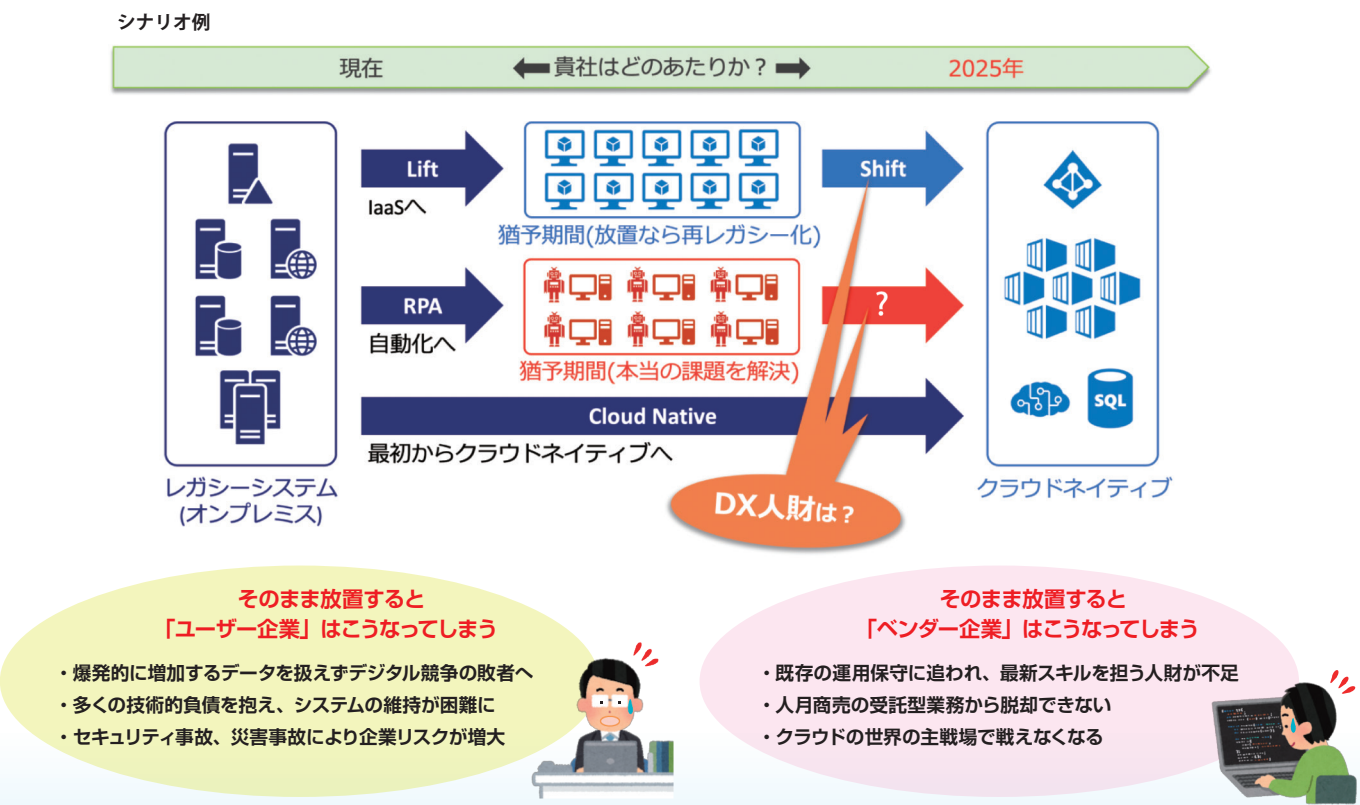
経済産業省は 2018 年 9 月、『DX レポート ～ IT システム「2025 年の崖」克服と DX の本格的な展開～」という、企業のシステム刷新について警鐘を鳴らす異例のレポートを発表しました。

多くの日本の企業が抱えている既存 IT システム（レガシーシステム）を現行のまま放置していると、老朽化・複雑化・ブラックボックス化が進み、既存データが十分に利活用できずプロセスの刷新も進みません。
また、既存 IT システムの運用保守に多くの資金や人財が割かれ、新たな IT 投資にリソースを振り分けることが困難となります。このままでは私たちが直面している DX の時代において、企業は生き残ることができなくなってしまうでしょう。それに対応するためには企業は、**将来のシステム刷新に向けて“今”動かなければなりません。**

今あるシステムをそのままクラウド上に移したり、RPA を導入して自動化を進めたとしても、真の DX にはなりません。システム、ビジネス両方の課題を解決するためには、**新たなデジタル技術を活用しながら、ビジネスモデルそのものを変換し、常に進化し続けるクラウド環境に対応していく必要があります。**根本から変えていかなければ、今から数年のうちには間違いなく既存のシステムは取り残され、ヒト・モノ・カネすべての面においてベクトルは負に向かって行くでしょう。

IT エンジニアのスキルをトランスフォーメーションさせる

DX を本格的に展開するには、表面的なクラウド化・DX 化ではなく、クラウド環境を前提に開発された「クラウドネイティブ」なシステムにすることが必要です。そうすることで、今後クラウド上で次々生まれる外部最新サービスを取り込みながら、安心で最適なサービスを提供することができるようになります。
ただし、**これを実現させるためには、「クラウドネイティブ」のスキルを持つ IT エンジニアが必要になります。**人財不足で採用難の今、必要なのは、現在活躍している IT エンジニアのスキルを「クラウドネイティブ」にトランスフォーメーションすることです。これは、ユーザー企業かベンダー企業かに関わらず、また顧客向けのサービスだけではなく、社内システムにおいても同様です。
勿論、企業によって現在の状況や段階は異なりますが、**最終的な「クラウドネイティブ」というゴールに向かって、必ずや対応していかなければならない喫緊の課題**と言えます。



▶ ユーザー企業、ベンダー企業それぞれにおいて、求められる人財スキルを整理し、必要な対応策を講じていかなければなりません！

「クラウドネイティブ人財育成道場」のスキル体系

「クラウドネイティブ人財育成道場」は、クラウドネイティブ開発あるいは開発内製化等に直面しているベンダー企業やユーザー企業のエンジニア向け育成講座です。今日のクラウドの神髄であるクラウドネイティブを実現するために急務となる様々な技術を習得し、先端技術を自在に使いこなせるエンジニア育成を目的としています。

◇クラウドネイティブ人財育成道場の体系

機械実習付

基本トレーニング

クラウドネイティブ開発を継続していく土台として必要な基本スキルを習得

クラウドデザイン編
DXB01

DevOps による継続開発編
DXB02

発展トレーニング

マイクロサービスやサーバーレスを活用するクラウドネイティブ開発に必要なスキルを習得

サーバーレス編
DXA03

マイクロサービス開発編
DXA05

(Web アプリケーション開発者)

クラウドネイティブ構築編
DXA04

DXB01 クラウドネイティブ人財育成道場 - クラウドデザイン編 <1日>

受講料：90,000 円 (税抜)
受講期間：1 日 <9 時 30 分 ～ 17 時 00 分>

PaaS を中心としたクラウドデザインパターン

本講座では、クラウドネイティブの第一歩として PaaS を使ったクラウドデザイン（クラウド設計）を学び、従来のネットワーク、サーバーといったものを極力使わずにフルマネージドサービスでシステムを設計します。

<対象>

- ・サーバー運用にかかわるエンジニア
- ・上流工程にかかわるエンジニア
- ・プログラマー ・一般管理者

<学習目標>

1. IaaS と PaaS の違いを理解し、顧客に適切な提案ができる
2. パブリッククラウド(主に Microsoft Azure)が提供する PaaS を理解し、個別設計することができる
3. クラウドデザインをベースとした基本設計を理解し、全体設計することができる
4. クラウドアプリケーションにおけるパターンを習得できる

<前提条件>

クラウドの基本的な用語が理解できること

1. PaaS 概要
PaaS のメリット、デメリット
IaaS、SaaS との違い
非機能要件の落とし込み
セキュリティ
 2. Microsoft Azure
Azure App Service 概要
データストア概要
その他サービス概要
 3. PaaS 設計基礎
アーキテクチャー基礎
Web サービス基本構成
運用構成
 4. PaaS 設計応用
データパイプライン基本構成
ビッグデータ処理パターン
コンテナパターン
- 【ワークショップ】
- ・クラウド化プロセスにおける障害とは
 - ・クラウド比較調査
 - ・アーキテクチャー考察
 - ・大型 EC におけるデザインパターン
 - ・運用管理システム考察
 - ・情報システム部門のクラウド化
- 【ハンズオン】
- ・Microsoft Azure 基礎
 - ・Web Apps による Web ホスティング
 - ・大規模サービスパターン

2019/8/8 (木), 10/8 (火) 茅場町

DXB02 クラウドネイティブ人財育成道場 - DevOps による継続開発編 <1日>

受講料：90,000 円 (税抜)
受講期間：1 日 <9 時 30 分 ～ 17 時 00 分>

リーンソフトウェア、アジャイル、インフラコード化、組織ビルド

本講座では、DevOps を理解する上で必要な技術的スキルと継続的に開発するための組織醸成スキルの習得が目的です。クラウド導入時のマネジメントを円滑にすることができ、その先にあるクラウドネイティブ化を強力に推し進めることが可能となります。

<対象>

- ・サーバー運用にかかわるエンジニア
- ・上流工程にかかわるエンジニア
- ・プログラマー ・一般管理者

<学習目標>

1. 従来のマネジメントとの違いを理解し、顧客に適切な提案ができる
2. アプリケーション開発における継続的改善の仕組みを理解し、導入できる
3. クラウドデザインに、継続開発出来る仕組みを設計、導入できる
4. インフラ構築における自動化を設計、導入することができる

<前提条件>

クラウドの基本的な用語が理解できること

2019/8/9 (金), 10/9 (水) 茅場町